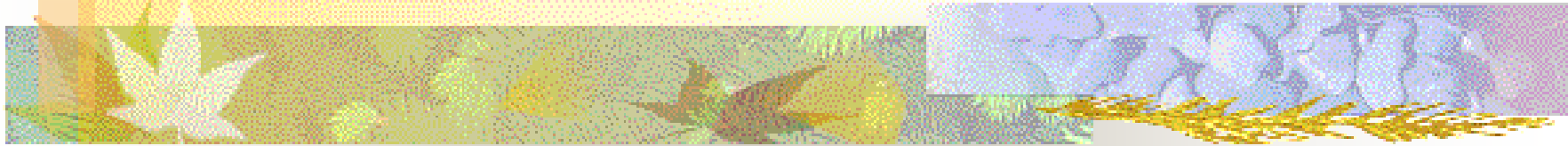


アルゴリズムとデータ構造b

10 - グラフの探索(幅優先探索)



大見 嘉弘

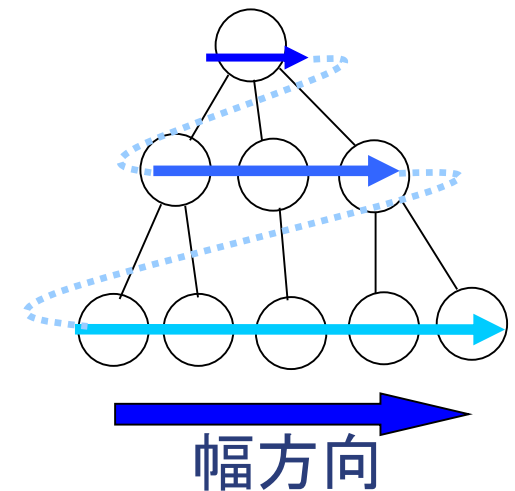
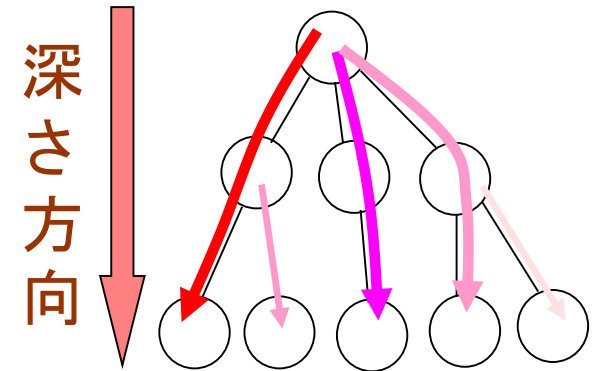


本日の内容

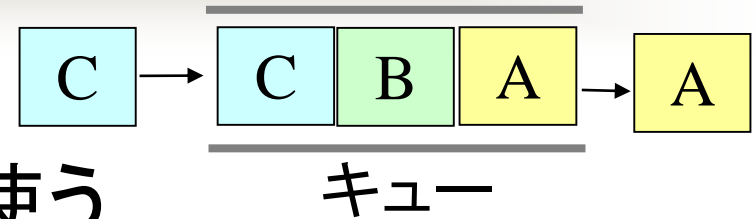
- グラフの探索
 - 幅優先探索

幅優先探索

- 縦方向(上→下)を先に辿るのが深さ優先探索
 - 縦型探索ともいう
- 横方向(左→右)を先に辿るのが幅優先探索
 - 横型探索ともいう



幅優先探索



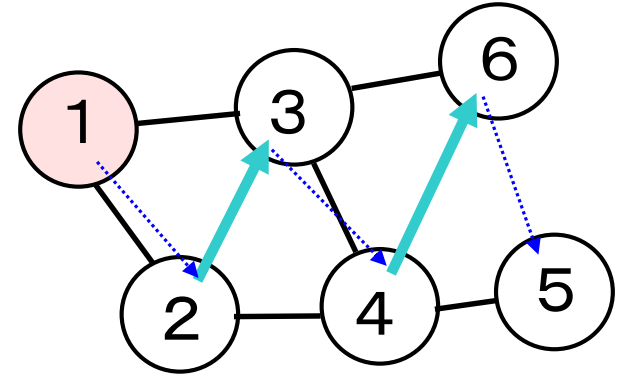
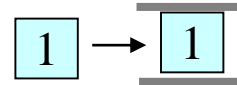
- キュー(待ち行列)を使う
 1. 始点をキューに入れる
 2. キューから頂点を1つ取り出し、その頂点に隣接している(全ての)未訪問の頂点をキューに入れる。
 3. キューが空になったら終了。空でなければ2に行く。
- 頂点を**キューに入れる順番**が探索順序(キューから取り出す順序も同様(FIFO))

幅優先探索の例(1)

→ 横に探索
→ 縦に探索

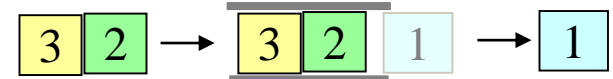
a. 頂点1から開始

b. 頂点1をキューに入れる



c. キューから頂点1を取り出す。

頂点1に隣接していて未訪問な頂点(2,3)をキューに入れる。



d. キューから頂点2を取り出す。頂点2に隣接していて未訪問な頂点4をキューに入れる。

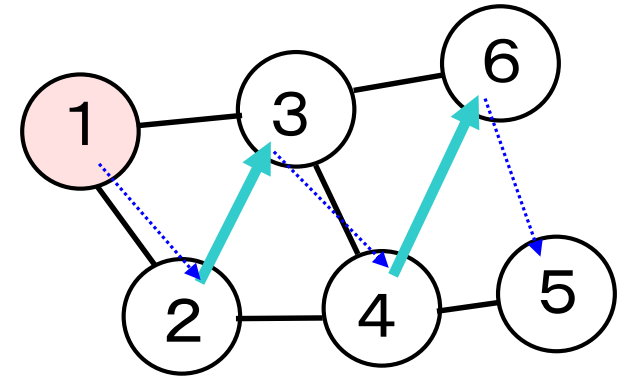


e. キューから頂点3を取り出す。頂点3に隣接していて未訪問な頂点6をキューに入れる。

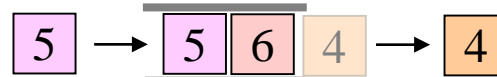


幅優先探索の例(2)

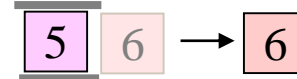
→ 横に探索
→ 縦に探索



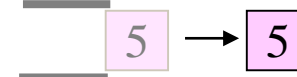
- f. キューから頂点4を取り出す。
頂点4に隣接していて未訪問
な頂点5をキューに入れる。



- g. キューから頂点5を取り出す。
頂点5に隣接していて未訪問な頂点はないので、
キューには何も入れない。



- h. キューから頂点4を取り出す。
頂点4に隣接していて未訪問な頂点はないので、
キューには何も入れない。



- i. キューが空になったので終了。

プログラム例(1)

- 深さ優先探索と同様な部分
 - グラフは隣接行列で表す
 - 訪問フラグを設ける

使わない部分

```
int[][] g = { {0, 0, 0, 0, 0, 0, 0},  
              {0, 0, 1, 1, 0, 0, 0},  
              {0, 1, 0, 0, 1, 0, 0},  
              {0, 1, 0, 0, 1, 0, 1},  
              {0, 0, 1, 1, 0, 1, 0},  
              {0, 0, 0, 0, 1, 0, 0},  
              {0, 0, 0, 1, 0, 0, 0}};
```

```
final int N = 6; // 頂点の数
```

```
int[] v = new int[N+1]; // 訪問フラグ
```

```
// 0:未訪問, 1:訪問済
```

プログラム例(2)

■ キューは一次元配列で表現

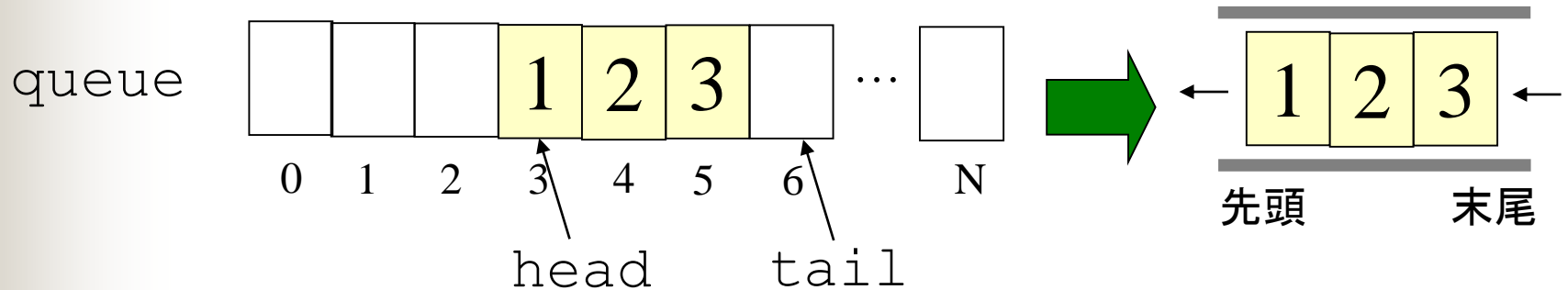
■ N個の一次元配列

```
int[] queue = new int[N];
```

※ キューに入る頂点の数は最大でもN個を上回らないため

■ キューの先頭の位置を示す head と末尾を示す tailを導入する

```
int head=0, tail=0;
```



head~tail-1 が現在のキューの内容

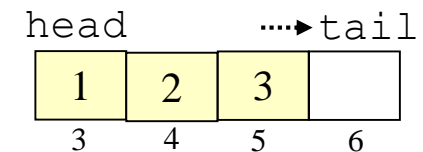
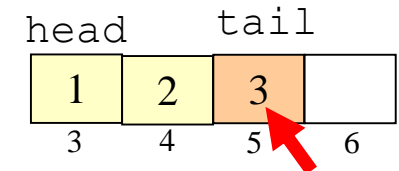
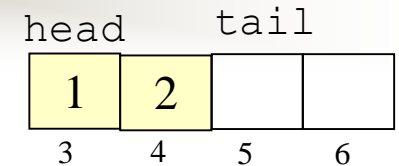
プログラム例(3)

■ キューにデータを入れる

- `queue[tail]` にデータを代入

- `tail` を1つ右へ(`tail++`)

`queue[tail++] = data;`

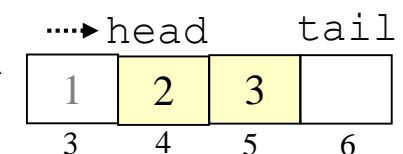
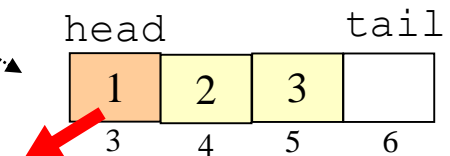
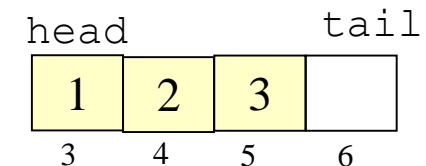


■ キューからデータを取り出す

- `queue[head]` の値を取り出す

- `head` を1つ右へ(`head++`)

`data = queue[head++];`



■ `head = tail` の時、キューは空

プログラム例(4)

実際の処理部

```
void visit() {  
    int i, j;  
    queue[tail++] = 1; v[1] = 1; // 頂点1をキューに入れる  
    while (head < tail) { // キューが空でない  
        i = queue[head++]; // キューから1つ取り出す  
        for (j = 1; j <= N; j++) {  
            if (g[i][j] == 1 && v[j] == 0) {  
                System.out.println(  
                    i + "->" + j);  
                queue[tail++] = j;  
                // 頂点jをキューに入れる  
                v[j] = 1; // 頂点jを訪問済みに  
            }  
        }  
    }  
}
```

頂点iと頂点jは
隣接している

キューに入れる
頂点を表示

頂点jは
未訪問

プログラムリスト(全体)

```
public class GraphBreadthFirstSearch {
    int[][] g = {{0,0,0,0,0,0,0},
                 {0,0,1,1,0,0,0},
                 {0,1,0,0,1,0,0},
                 {0,1,0,0,1,0,1},
                 {0,0,1,1,0,1,0},
                 {0,0,0,0,1,0,0},
                 {0,0,0,1,0,0,0}};

    final int N = 6; // 頂点の数
    int[] v = new int[N+1]; // 訪問フラグ
    int[] queue = new int[N]; // キュー
    int head=0,tail=0;
    void visit(){ //頂点を訪問
        int i,j;
        queue[tail++]=1; v[1]=1;
        while(head < tail) {
            i=queue[head++];
            for(j=1;j<=N;j++) {
                if (g[i][j]==1 && v[j]==0) {
                    System.out.println(i+"->" +j+"を訪問");
                    queue[tail++]=j;
                    v[j]=1;
                }
            }
        }
    }

    public static void main(String args[]) {
        GraphBreadthFirstSearch prog = new GraphBreadthFirstSearch();
        prog.start();
    }

    public void start() {
        for (int i=1; i<=N; i++) { v[i]=0; }
        visit();
    }
}
```

プログラム例のトレース(1)

i	j	v	1	2	3	4	5	6	head	tail	queue	0	1	2	3	4	5	6	備考
			0	0	0	0	0	0	0	0									head=0,tail=0
			1	0	0	0	0	0	0	1		1							頂点1訪問
1									1	1									キューから頂点1を取り出す
	1																		$g[1][1]=0$
	2		1	1	0	0	0	0	1	2		1	2						$g[1][2]=1, v[2]=0$ 頂点2訪問
	3		1	1	1	0	0	0	1	3		1	2	3					$g[1][3]=1, v[3]=0$ 頂点3訪問
	4																		$g[1][4]=0$
	5																		$g[1][5]=0$
	6																		$g[1][6]=0$
2									2	3		1	2	3					キューから頂点2を取り出す
	1																		$v[1]=1$
	2																		$g[2][2]=0$
	3																		$g[2][3]=0$
	4		1	1	1	1	0	0	2	4		1	2	3	4				$g[2][4]=1, v[4]=0$ 頂点4訪問
	5																		$g[2][5]=0$
	6																		$g[2][6]=0$

~

プログラム例のトレース(2)

i	j	v	1	2	3	4	5	6	head	tail	queue	0	1	2	3	4	5	6	備考
3									3	4		1	2	3	4				キューから頂点3を取り出す
	1																		v[1]=1
	2																		g[3][2]=0
	3																		g[3][3]=0
	4																		v[4]=1
	5																		g[3][5]=0
	6		1	1	1	1	0	1	3	5		1	2	3	4	6			g[3][6]=1, v[6]=0 頂点6訪問
4									4	5		1	2	3	4	6			キューから頂点4を取り出す
	1																		g[4][1]=0
	2																		v[2]=1
	3																		v[3]=1
	4																		g[4][4]=0
	5		1	1	1	1	1	1	4	6		1	2	3	4	6	5		g[4][5]=1, v[5]=0 頂点5訪問
	6																		g[4][6]=0

~

プログラム例のトレース(3)

i	j	v	1	2	3	4	5	6	head	tail	queue	0	1	2	3	4	5	6	備考
6									5	6		1	2	3	4	6	5		キューから頂点6を取り出す
	1																		$g[6][1]=0$
	2																		$g[6][2]=0$
	3																		$v[3]=1$
	4																		$g[6][4]=0$
	5																		$g[6][5]=0$
	6																		$g[6][6]=0$
5									6	6		1	2	3	4	6	5		キューから頂点5を取り出す
	1																		$g[5][1]=0$
	2																		$g[5][2]=0$
	3																		$g[5][3]=0$
	4																		$v[4]=0$
	5																		$g[5][5]=0$
	6																		$g[5][6]=0$
									6	6									キューが空なので終了

プログラムリスト2(論理型変数を使用した場合)

```
public class GraphBreadthFirstSearch2 {
    final boolean F=false, T = true;
    boolean[][] g = {{F,F,F,F,F,F,F},
                     {F,F,T,T,F,F,F},
                     {F,T,F,F,T,F,F},
                     {F,T,F,F,T,F,T},
                     {F,F,T,T,F,T,F},
                     {F,F,F,F,T,F,F},
                     {F,F,F,T,F,F,F}};

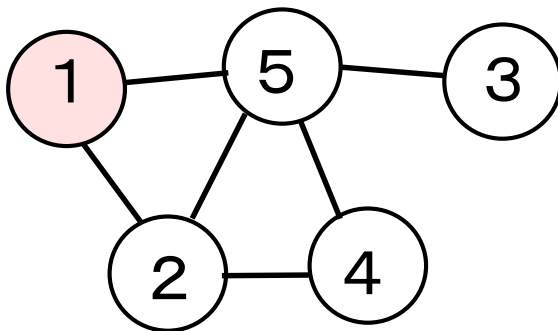
    final int N = 6; // 頂点の数
    boolean[] v = new boolean[N+1]; // 訪問フラグ
    int[] queue = new int[N]; // キュー
    int head=0,tail=0;
    void visit(){ //頂点を訪問
        int i,j;
        queue[tail++]=1; v[1]=true;
        while(head < tail) {
            i=queue[head++];
            for(j=1;j<=N;j++) {
                if (g[i][j] && !v[j]) {
                    System.out.println(i+"->" +j+"を訪問");
                    queue[tail++]=j;
                    v[j]=true;
                }
            }
        }
    }

    public static void main(String args[]) {
        GraphBreadthFirstSearch2 prog = new GraphBreadthFirstSearch2();
        prog.start();
    }

    public void start() {
        for (int i=1; i<=N; i++) { v[i]=false; }
        visit();
    }
}
```

宿題

- 下図のグラフを幅優先探索で辿れ
解答例: $1 \rightarrow 5 \rightarrow 4 \rightarrow 3 \rightarrow 2$
- 下図のグラフを幅優先探索のプログラム例で探索した場合のトレース表を書け



i	j	v	1	2	3	4	5	6	head	tail	queue	0	1	2	3	4	5	6	備考
			0	0	0	0	0	0	0	0									head=0,tail=0
			1	0	0	0	0	0	0	1		1							頂点1訪問
1									1	1									キューから頂点1を取り出す
	1																		$g[1][1]=0$
	2		1	1	0	0	0	0	1	2		1	2						$g[1][2]=1, v[2]=0$ 頂点2訪問
	3		1	1	1	0	0	0	1	3		1	2	3					$g[1][3]=1, v[3]=0$ 頂点3訪問
	4																		$g[1][4]=0$
	5																		$g[1][5]=0$
	6																		$g[1][6]=0$
2									2	3		1	2	3					キューから頂点2を取り出す
	1																		$v[1]=1$
	2																		$g[2][2]=0$
	3																		$g[2][3]=0$
	4		1	1	1	1	0	0	2	4		1	2	3	4				$g[2][4]=1, v[4]=0$ 頂点4訪問
	5																		$g[2][5]=0$
	6																		$g[2][6]=0$

解答例